

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京電子専門学校	昭和51年10月1日	新休 能士	〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6-1 (電話) 03-3982-3131				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人電波学園	昭和30年9月27日	山口 広泰	〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6-1 (電話) 03-3982-3131				
目的	病院や企業と連携し、実務において求められる専門的知識や技術を学生に習得させ、診療放射線技師の資格取得を目指し、就職後即戦力となる人材の育成を図る。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	診療放射線学科	平成6年文部省告示第84号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2870	1940	0	930	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
270人	269人	8人	21人	29人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・レポートその他の方法並びに通常点(提出物等)の全てを勘案する。			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月7日 ■春季:3月20日～4月10日		卒業・進級条件	当該学年での全教科を履修し、所定の単位を修得したものに判定会議の議を経る。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、面談等		課外活動	■課外活動の種類 体育行事 ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 医療機関、病院など ■就職率 <sup>※1</sup> : 98% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 96% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	診療放射線技師国家試験受験資格 第1種、第2種放射線取扱主任者試験			
中途退学の現状	■中途退学者 24名 平成28年4月1日 在学者 251名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 269名 (平成29年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 8.9% 平成28年4月1日から平成29年3月31日までの期間中に24名が中途退学し、2名が他学科へ転科しました。				
	■中途退学の主な理由 経済的理由、体調不良など						
	■中退防止のための取組 担任制度による密接な対応および指導						
ホームページ	URL://www.tokyo-ec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
  - ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
  - ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- (「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学内での教育において、基礎的・専門的な能力を身に付け、診療放射線技師の重要性を理解し、現場での実習において、患者への対応も含め、実務を体験し、実践能力を身につけることができる。また、多くの種類の医療機器を経験することができ、最新の技術を修得できる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

※当委員会は診療放射線学科、臨床検査学科、臨床工学科の3科共通の委員会です。

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
吉田 隆	株式会社サンリツ 取締役
谷道 清隆	社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院 内視鏡室 技師長
松金 隆夫	一般社団法人 千葉県臨床工学技師会 副会長
田中 美次	株式会社 ホリスティックホールディングス 代表取締役
荒川 静司	医療法人社団東光団 戸田中央総合病院 臨床工学科 科長
伴場 次郎	東京電子専門学校 副校長
塚田 敏彦	東京電子専門学校 臨床検査学科 学部長 副校長
尼崎 朝子	東京電子専門学校 臨床工学科学部 学部長
山口 勝広	東京電子専門学校 学園本部 副本部長
山口 真弘	東京電子専門学校 学園本部 総務部副部長

(開催日時)

第1回 平成28年3月18日 15:30~17:00

第2回 平成28年10月14日 16:00~17:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

診療放射線技師法指定規則には臨床実習について10単位(うち2単位は学内で実施しても可)を必要とするが、450時間をフルに活用して臨床実習に臨ませている。臨床実習は勉強の進度に合わせて2回に分割し(診断部門及び治療・核医学部門)、それぞれ学生の理解度に応じた時期に設定している。

学内での講義において実践不可能な患者接遇については、講義及び学内実習で基礎を学ぶと共に臨床実習において実際の患者対応を学び、患者中心の医療の実現を学生時代から意識させるよう指導する。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習(診断部門)	X線単純撮影、X線特殊撮影、X線CT、MRI、超音波検査等における臨床実習	がん研有明病院、国立国際医療研究センター、独立行政法人国立病院機構東京医療センター 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 他
臨床実習	核医学検査、放射線治療における臨床実習。	(診断部門・核治療部門 共に連携先病院は同一)

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- ・民間企業での研修(派遣型)を通して、民間企業の現状を知り、必要とされる人材等についての動向を得るなど、外部で無いと分からない、体感できないことに対して積極的に取り組むよう努めている。
- ・外部の技術セミナー等に参加をし、現在の技術動向の習得に努めている。
- ・外部の所謂教え方に関するセミナーや研修会に参加をし、授業の質の向上、学生が頼興味を持てる授業の実施が出来るよう研鑽をしている。
- ・必要に応じ、企業から講師を招いて最新技術や需要の高い技術に関連するセミナーを開催している。
- ・学期ごとに学生による「授業アンケート」を実施し、校長室より個々の教員に結果を示した上で改善点を指摘し、よりよい授業となるよう改良・改善に努めさせている。
- ・「公開授業」という形で、評価の高かった教員の授業を参観させ、個々の授業の参考とするようにしている。なお、公開授業は学内の教員だけではなく、非常勤も対象としており、その中には企業から派遣されている講師なども含まれる。
- ・校内規定である「研修等に係る諸規定」に基づき、計画的に教員の研修を行っている。具体的には、主な研修期間である長期休暇期間の前に各教員は研修計画を校長室に提出し、研修先や研修期間、その予想効果を審査している。また、長期休暇期間後は研修結果の提出を必須としている。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)※当委員会は全学科共通の学校で1つの委員会です

平成29年4月1日現在

名前	所属
岡本 真梨子	株式会社エスキャリア 執行役員
喜多村 貞一	エーアイテクノロジー株式会社 代表取締役社長 情報処理関連企業代表
松金 隆夫	(一社)千葉県臨床工学技士会 副会長 臨床工学技士(国家資格) 診療放射線技師(国家資格)
吉田 隆	株式会社サンリツ 取締役 臨床検査技師(国家資格)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.tokyo-ec.ac.jp/>

## 授業科目等の概要

（医療専門課程診療放射線学科）平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			数学	基礎理工学を修得するために必要な数学。特に実用計算、および物理計算を学習します	1	30	2	○			○			○	
○			物理学	物理的諸現象に対する基礎理論、専門科目を理解するために必要な知識を学習します	1	30	2	○			○			○	
○			化学	化学の一般的理解を深め、化学反応と主な化合物の特性について学習します	1	30	2	○			○			○	
○			生物学	生物学一般、放射線と生物の関係を理解するために必要な基礎的事項について学習します	1	30	2	○			○			○	
○			心理学	人間の意識や行動について学び、特に患者心理を学習します	1	30	2	○			○			○	
○			経済学	日常生活での経済現象、基礎的な分析ツール、経済の仕組みやメカニズム、特に医療経済について学習します	1	30	2	○			○			○	
○			英語	一般教養書、放射線技術専門書を通じて、長文読解力を養うよう学習します	1	60	4	○			○			○	
○			保健学	健康づくりに必要な生活習慣と身体の仕組みを学習します	1	15	1	○			○			○	
○			体育	運動の大切さと必要性を理解し、協調性・協力性・コミュニケーション能力をつけるために体育の実技を行います	1	30	1			○	○			○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			解剖生理学	人体の基礎構造、各器官の名称、部位や、生命の維持に必要な生体機能の概要、生体の各器官の生理機能と生化学的過程について学習します	1	60	4	○			○		○		
○			病理学	器官や臓器の主な疾患の原因および経過や転帰等を学習します。特に画像診断および放射線治療の対象となる主な疾患の病理を学習します	1	30	2	○			○		○		
○			生化学	生体内に存在する化学物質が人体をどのように構成しているか等について学習します。また、生命維持のエネルギーを取り出す仕組みについて学習します	1	30	2	○			○			○	
○			医学概論	医学の本質について哲学的な要素が中心となる科目ですが、医学の歴史から始まりなるべく平易に医学の概念について学習します	1	15	1	○			○			○	
○			内科学概論	広範な内科学のうち、歴史、診断学のほか、日常しばしば遭遇する疾患に関する基礎的重要事項を学習します	1	15	1	○			○			○	
○			外科学概論	外科学のうち、損傷、外傷、炎症、腫瘍、ショック等を中心に、日常の臨床的に重要な事項を学習します	1	15	1	○			○			○	
○			整形外科学	骨の正常構造と機能や疾患を学び、診断と治療について学習します	1	15	1	○			○			○	
○			基礎医学大要 I	放射線診療において必要な医学的知識全般について学習します	1	15	1	○			○			○	
○			基礎医学大要 II	これまで学んできた医学的知識を整理するとともに、国家試験の出題範囲について理解を深めるよう学習します	3	30	2	○			○			○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			公衆衛生学	健康に対する一般的概念と予防医学、一般衛生、労働衛生、および疾病予防を学習します	1	30	2	○			○			○	
○			医療福祉概論	医療、保健、福祉の社会的な仕組み構造について学習します	1	30	2	○			○				○
○			応用数学	一般応用数学の基礎を学習します	1	30	2	○			○				○
○			医用電気電子工学	電気電子に関する一般的知識を身につけ、医用機器に応用される電磁気学、直流交流回路、半導体、電子回路を学習します	1	45	3	○			○				○
○			放射線物理学Ⅰ	原子の構造、性質を学習します。また、放射線に関する基礎知識について学習します	1	45	3	○			○			○	
○			放射線物理学Ⅱ	放射線物理学Ⅰの内容の理解度を深くするとともに、原子核内で起こる現象について深く学習します	2	45	3	○			○				○
○			放射線計測学Ⅰ	放射線測定に関する基礎的技術、放射線量、放射能、エネルギーの測定、診断・治療、並びに放射線防護に関する測定法について学習します	2	45	3	○			○			○	
○			放射線計測学Ⅱ	放射線治療分野において放射線計測技術は大きな意味を持つため、臨床に則した計測理論を学習します	3	45	3	○			○			○	
○			放射線計測学実験	診療放射線の計測法についての基礎的技術を実習します	2	45	1			○	○			○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			放射線生物学	放射線の生物に対する影響、分子、細胞、組織、および個体レベルでの照射の影響について学習します	2	30	2	○			○		○		
○			医用工学	医学分野における電気電子技術論を学習します	3	30	2	○			○			○	
○			医用工学実験	電気電子工学分野における素子の特性測定を中心に、電気電子工学の基礎を実験する	2	45	1			○	○			○	
○			放射化学	放射線同位元素の諸性質、取扱法、測定法、トレーサー法、分離希釈法、調整法について学習します	3	45	3	○			○			○	
○			情報工学実習	コンピュータシステムの基礎知識及び医用画像の成り立ちについて実験・実習します	1	45	1			○	○			○	
○			診療画像技術学概論	技術概論、技術史（技術）、技術論、技術理論、自然科学、社会科学、工学の各論理や、特に患者接遇や、チーム医療について学習します	1	25	1	○			○			○	
○			画像診断学	画像解剖学を学び、画像と疾病の関係を学習します	2	50	2	○			○			○	
○			診療画像X線撮影技術学基礎	エックス線撮影の基礎となる写真学を中心に学習します	1	25	1	○			○			○	
○			診療画像X線撮影技術学Ⅰ	エックス線撮影における画像の成立理論、装置の基本原則、撮影の基本理論を学習します	1	25	1	○			○			○	



授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			診療画像X線撮影技術学Ⅱ	エックス線単純撮影における胸部、腹部、骨部等の撮影法と診断学を学習します	2	50	2	○			○		○	○	
○			診療画像X線撮影技術学Ⅲ	エックス線造影撮影における呼吸器、消化器、循環器等の撮影法と、診断学を学習します	2	50	2	○			○		○		
○			診療画像X線撮影技術学実習	エックス線撮影の基礎実習をします	2	45	1			○	○		○	○	
○			医療倫理学	医療人としての倫理観について学習し、将来医療界で働く場合の基本理念を学習します	1	25	1	○			○			○	
○			診療画像撮影機器工学Ⅰ	エックス線診断装置の構成や動作原理について基礎を学習します	1	25	1	○			○		○		
○			診療画像撮影機器工学Ⅱ	エックス線診断装置の構成や、動作原理、保守管理法を学習します	2	50	2	○			○			○	
○			診療画像機器工学実験	X線撮影装置の仕組みや特性を測定し、X線診断用装置について理解するために実習します	1	45	1			○	○		○		
○			CT検査技術学	エックス線CTの原理や装置を学び、その撮影法と診断学を学習します	2	50	2	○			○			○	
○			CT検査技術学実習	エックス線CTを使って検査原理や操作方法などについて実習します	2	45	1			○	○		○	○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			M R I 検査技術学	磁気共鳴画像（MRI）の原理と、装置を学びその撮影法と診断学を学習します	2	50	2	○			○		○	○	
○			超音波検査技術学	超音波装置の原理とその撮影法と、診断学を学習します	2	50	2	○			○				
○			超音波検査技術学実習	超音波検査（ドップラを含む）について実習をします	2	45	1			○	○		○		
○			核医学検査機器工学	核医学診断装置の構成や、動作原理、保守管理法を学習します	3	25	1	○			○		○		
○			放射性医薬品学	放射性医薬品について学び、その生体との関係について学習します	3	25	1	○			○		○	○	
○			核医学検査技術学	核医学検査の原理と装置の構成や動作原理、保守管理法を学び、核医学検査法と診断学を学習します	3	125	5	○			○		○	○	
○			放射線治療機器工学	腫瘍について学び、特に悪性腫瘍の診断法を学習します	3	25	1	○			○		○		
○			臨床腫瘍学	放射線治療の原理、および装置の構成や動作原理、保守管理法を学び、放射線治療技術を学習します	3	25	1	○			○			○	
○			放射線治療技術学	放射線治療技術分野を病院で実際に学び、患者の接遇や臨床的な観察力を身につけます	3	125	5	○			○		○	○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医用画像工学	医用画像の基礎知識と、画像評価に必要な解析技術、画像工学の概要、並びに画像形成、解析、評価について学習します	2	50	2	○			○			○	
○			医用画像工学実験	一般写真概要及び医用画像の評価法（コントラスト、鮮鋭度、粒状性）について実験します	2	45	1			○	○			○	
○			医用画像情報学	コンピュータシステムの基礎知識及び医用画像の成り立ちについて実験・実習します	2	50	2	○			○				○
○			医用画像情報学実験	写真化学の基礎理論の実践と、デジタル画像情報理論について実習します	2	45	1			○	○				○
○			関係法規Ⅰ	診療放射線技師の法的立場、国際放射線防護委員会勧告の主旨、および放射線医療に必要な関係法規について学習します	2	25	1	○			○				○
○			関係法規Ⅱ	実際の病院運営における法的手続きや原理原則に基づいた放射線管理区域の運用について学習します	3	25	1	○			○				○
○			放射線管理学	放射線防護学を学び、X線、放射性同位元素の管理技術、および安全取扱法について学習します	3	50	2	○			○				○
○			放射線管理学実験	個人被曝線量の測定、空間線量率の測定、表面汚染の測定、放射線の遮蔽と防護材料、水中汚染の測定、空気汚染の測定、除染剤による測定について実習します	3	45	1			○	○				○
○			医療安全管理学	医療におけるアクシデントやインシデントを予防すると共に、診療放射線技術の適切化及び正当化について学習します。	3	15	1				○				○

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			臨床実習部 (診断部門)	臨床実習病院にてX線診断部門における撮影技術や患者接遇などを体感するとともに、病院運営システム全体についての理解を深める実習をします	2	270	6			○	○			○	○
○			臨床実習部 (核・治療部門)	核医学検査技術及び放射線治療技術を臨床病院で学び、患者の接遇や臨床的応用力を身につけます	3	180	4			○	○			○	○
合計			65 科目		2870 単位時間 (123 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業の要件	: 全ての単位が取得出来ていること。卒業試験に合格すること。	1 学年の学期区分	2 学期
履修方法	: 講義科は試験にて60点以上であること。 実験科目についてはレポートが提出され受理されていること。		
		1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。